

からだの不思議

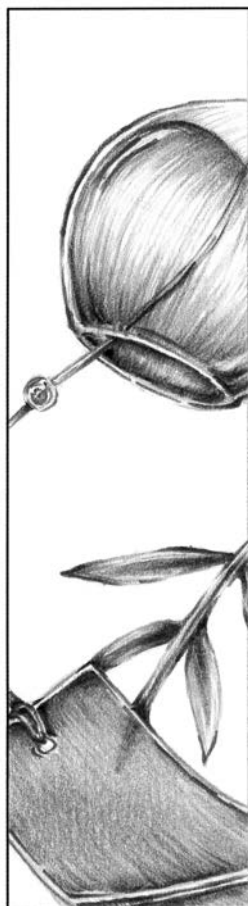


自然科学研究機構 生理学研究所

所長 鍋倉 淳一 氏

「生理学」とは何を研究するのですか？生物学や天文学は、珍しい生き物を見つれたり、夜空を見上げると感動したり興味をもつことはよくあります。しかし、なぜ、眠くなるのか、自転車に乗れるようになるか、生忘れないのか、病気やけがをしてはじめて気がつきます。からだの仕組みを研究する「生理学」は余りにも身近にあるためイメージがつかない研究分野です。正常とは？これが一番難しい質問です。カラダは

病気でない方を見る数少ない診療科である周産期医療に従事していた一九八〇年代、超音波で胎児をみる技術ができ、一個の受精卵が成長し、胎児がカラダを動かすはじめ、出生前には睡眠リズムが動き、また音へ反応し始めるなど、わずか十ヶ月間で様々な脳機能を獲得していくことに興味を持ち、脳生理学の研究に進みました。



恒常性を保つために常に揺らいでいます。脳は知の中枢であるとともに、カラダの恒常性を調節する中枢です。脳の研究は急速な進歩を遂げていますが、まだまだ未知の世界です。

私は若い研究員や大学院生に「手持ちのカードを増やせ」と教えています。異なる研究室や研究技術など、いろいろな経験をして得た異なるカードを組み合わせることで、新たな展開を生み出すことができますと考えています。

近年、日本では研究に進む若者が少なくなっていることが社会問題に

なっています。特に、卒後臨床研究制度の導入によって医学教育を受けた研究者が激減しているなか、脳科学・生理学は新たな生命科学として展開をしています。精子三億個（一回の射精）と卵子百万個（卵巣内）の一对が出会って生まれた自分自身の貴重さとそのカラダの不思議に興味をもつ若者が増えることを期待しています。

今年十月二十八日(土)に生理学研究所の一般公開を行います。是非おいでください。

(なべくら じゅんいち)

教育随想



令和5年7月1日

7月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想…………… 1
自然科学研究機構 生理学研究所
所長 鍋倉 淳一 氏
- この人に聞く…………… 2
ペンアドバイザー
竹内さちよ 氏
- 羅針盤…………… 2
図工・美術科指導員
堀口 宏章
- ふれあい…………… 3
福岡中学校
教諭 権田 康成
- 特集…………… 4
ブランド化推進で地域の活性化を
お知らせ…………… 6
- フォト・ヒストリー… 8
青木川「川遊びの会」(平成4年)
- この本を…………… 8



人の温かさ「時の流れ」を万年筆と共に

ペンアドバイザー

竹内 さちよ氏

ショーカーケースに飾られた、色とりどりの万年筆。誰もがわくわくさせられるようなこの空間で、竹内さんはお客様とのペン探しを楽しんでいる。

「万年筆に特化したお店にしようと思っただけではなぜですか」

元々は、一般文具の取り扱いを主としたお店でした。しかし、今から二十年前から、インターネット通信販売や百円ショップ等が台頭するにつれ、文房具店へ足を運んでくれる人が少なくなってきました。今後のことを考え、一度はお店を閉めようかとも思いました。しかし、経営コンサルタントから「自分の好きなものに特化したお店を展開してみても」という助言を受け、思い留まりました。

お客様との日々のやり取りの中で、

百円のボールペンでさえも、より書き味のよいもの、より手になじむもの、こだわりをもって選んでいるのだという事に気が付きました。

そこで、お客様一人一人の要望に応えられるよう、よい筆記具に出会えるお店にしようと考えました。そこで目を付けたのが万年筆だったのです。

「万年筆の魅力とは何ですか」

万年筆は、使えば使うほど持ち主の手になじみます。その人の書き癖はもちろん、力の入れ具合によるインクの濃淡や筆脈から、その時の気分までも繊細に表現してくれます。

また、子供の頃、進学祝いに買ってもらった万年筆を大人になっても大切にしていたり、以前に書いた文字のインクの色の変化から、時間の経過に思いを馳せたりすることもあります。一本のペンには持ち主の思い出やエピソードが詰まっています。そこには「時の流れ」が宿っているのです。

万年筆は、その魅力で多くの人を惹きつけ、人と人とのつながりをつくってきました。ペンを仕上げる工程に携わっている職人や技術者、万年筆を修理するペンドクター、そして世界中の万年筆愛好家たち。私自身、万年筆を通してたくさんの方と仲間でスタッフ、お客様と出会うことができました。

「ペンアドバイザーとして心掛けていることは、どのようなことですか」

お客様が何を好み、どのような用途でペンを探しているのかをよくつかむ

ことです。いくら上等な万年筆を使っている、その人に合ったものでないと、よさを発揮しきれません。「万年筆」「紙」「インク」「使う人の心」の四つがうまく調和するよう、要望をよく聞いて助言するようにしています。

重量感や書き心地など、実際に手にしないと分からないこともあります。お客様には、じっくりと自分に合った一本を選ぶという時間も、ぜひ楽しんでもらいたいと思います。

「今後の願いを教えてください」

私のいちばんの願いは、より多くの皆様に万年筆や手書きの文字の魅力を届けてもらいたいことです。

手書きの文字には、人の温かさがにじみ出ます。文字を見ると、その人の顔が浮かびます。それくらい、書くことは人々の生活に密着しています。いつか郵便屋さん、「岡崎はなぜこんなに手書きの手紙が多いのか」と思ってもらえるくらい、手書きが皆様に愛されるようになるとよいと考えています。

手書きの機会が減っている今だからこそ、人の温かさや時の流れを感じることでできる万年筆に興味をもってほしいと思います。そのために、これからもその魅力を伝えていきます。



氏名

たけうち さちよ

生年月日

昭和二十七年

九月二十二日

住所

岡崎市籠田町



見る力を伸ばし表現に生かす

図工・美術科指導員

堀口 宏章

子供は、表現する過程で常に作品や活動と向き合い、繰り返し鑑賞をしている。本来、表現と鑑賞は表裏の関係である。子供が表したいことを見つけて表現するには、両者を結び付けて考えることが大切である。

小学校二年生「うつつしてうつつして」という授業を参観した。A教諭は導入で、スタンプの印影を鑑賞させた。

「不思議な形でももしろい。」

「何の形だろう。」

と、子供は、感想や疑問を口にする。

A教諭は、「これは何でつくったスタンプか分かるかな」と問いかけた。

「アルミホイルをくつつけたと思う。」

「段ボールを丸めたのかな。」

A教諭の問いに、子供は材料だけでなく技法にも発想を広げていく。印影からのイメージを問うたことは、子供の想像力を刺激したようだ。



リーダーとしての一歩

福岡中学校

教諭 権田 康成

「僕が縦割り応援合戦の連合長になったら、どの連合よりも楽しい連合にして、優勝に導きます。」と、Aは声高らかに立候補した。

Aは気持ち乗らないと手を抜く気分屋だが、明るく勢いのある性格で求心力があった。私は、これまで人前で活躍することはなかったAに、リーダーとしての能力を開花させるチャンスになると期待を抱いた。

応援合戦の練習が始まった。歌、振り付け、練習の段取り。勢いだけではどうにもならず、うまく采配できないAの元で、連合の動きはちぐはぐしていた。自分がみんなを引っ張っていかなくてはと勝負しすぎて空回りしているAに、軌道修正をする糸口を見つけてほしいと思った。私は、Aと副リーダー数名との話し合いの場を設け、なぜ練習がうまくいかないかと思うかと投げかけた。

「いろいろ考えすぎて、いつものAのよさがなくなっていると思う。」
「Aはすべて一人でやるうとしすぎている。もっと私たちにも頼ってほしいな。みんな考えれば、もっとよいものができると思うよ。」

級友からの言葉に、徐々にAの顔が上がり、彼の肩からすうっと力が抜けていくのが分かった。

それからのAは、副リーダーも含めて意見を話し合いつつ、練習を進めていった。Aの表情も少しずつ和らぎ、学級練習は順調に進み始めた。

しかし、下級生との合同練習初日にちよつとした問題が起こった。

「一年生から順番に、練習してきた演技を最後まで見せてください。」

合同練習の初日にもかかわらず唐突に放たれたAの言葉。突然の指示に戸惑い、皆から笑顔が消えた。全体の前へと出されたものの、思うようなパフォーマンスができない下級生。掛け声も細く、口数も少ない中で、その日の合同練習を終えた。

私は、Aが順調にリーダーとして成長し、自信をつけたことで、かえって一人でもやれると勝負しすぎてしまったことを感じた。だからこそ、仲間と共に動く大切さを考えさせるよい機会だとも思った。

「練習が不十分な状態で、急に演技をさせられた下級生の気持ちは、どうだっただろうか」と問う私に、Aはじつと考えた後、こう答えた。

「計画にない指示を出し迷惑をかけた。副リーダーと相談します。」
そして副リーダーを集め、翌日の合同練習に向けて真剣に話し合った。
「昨日は、予告もせず、急に演技をさせてしまったてごめんさい。」

翌日、Aは下級生を前に深々と頭を下げた。Aの素直さが前面に出た言葉だった。Aを真っ直ぐに見つめる下級生。謝罪から始まった合同練習の二日目は、グラウンドいっぱい皆の声が響き渡った。

迎えた本番、Aの連合は、溢れる笑顔で演技を終えた。そして、応援合戦優勝の賞状を手に教室に戻った。

「最初はうまくいかずに苦しかったけれど、みんなが支えてくれて、最高に楽しい時間になりました。」

級友に「ありがとう」と語りかけるAの目から、大粒の涙が落ちた。Aは、リーダーとしての一歩を大きく踏み出した。



続けてA教諭は、「なぜそう感じたのかな」と問い返した。すると、

「たくさん隙間があるから。」

「丸い所がぎざぎざしているから。」
と、子供は考えの根拠を発表した。段階を踏んだA教諭の問いかけによつて、本時の核となる「切る、貼る、巻く、折る」といった技法や、扱う素材の生かし方と印影との関係に、子供は気付くことができた。

表し方の工夫を捉えることができたり子供は、制作開始の合図とともに夢中でスタンプづくりに取り組んだ。いつもは迷いながら制作する児童Bも、イメージに合う材料を選び、切つて貼り、丸めて折るなどしながら、花型のスタンプをつくった。目を輝かせながら完成したスタンプを紙に押しつけた児童Bは、印影の仕上がりに満足し、みんなに「見て見て」と声をかけて回った。Bのこの姿は、制作前に位置付けた鑑賞活動が有効に働き、見通しをもった制作活動が行えたことで生まれたものである。

このように、子供が自分の感覚や行為を通して色や形などの造形的な視点に気付くことができるよう、表現と鑑賞を関わらせ、子供が表現するおもしろさを味わうことのできる授業を目指したい。



▲田植え体験「ぬかたのミネアサヒ」(豊富小学校)

農林産物
ブランド化



▲ぬかたのミネアサヒ



▲岡崎おうはん



▲藤川宿むらさき麦



▲町探検で訪ねた岡崎おうはん販売所(福岡小学校)



▲藤川宿むらさき麦の収穫体験 (藤川小学校)

ブランド化推進で地域の活性化を

岡崎市には、他に誇れる優れた農林産物がある。本市は、市のような農林産物を平成二十八年度より、「ブランド化推進品目」と指定した。その背景の一つには、生産者の高齢化、後継者・担い手不足、耕作放棄地の増加などの課題がある。地域の活性化と共に、ブランド化を推進することで、その価値を内外にPRし、課題解決を目指している。

ブランド化推進品目の中でも、特定の地域で伝統的に生産されており、今後推進していきたいものを「地域ブランド化推進品目」としている。「藤川宿むらさき麦」「岡崎おうはん」「法性寺ねぎ」「大門のしめ縄」に、新たに「岡崎竹千代ポーク」「ぬかたのミネアサヒ」が加わった。

「岡崎竹千代ポーク」は、岡崎生まれ岡崎育ちの三元豚である。竹林整備で伐採された竹を竹炭に加工して、えさに添加し、生産されている。

また、「ぬかたのミネアサヒ」は、中山間地域で極少量しか生産されていないため、稀少価値が高く「幻のお米」と呼ばれている。ミネアサヒは、岡崎の水源でもある清流で育まれ、額田の昼と夜の寒暖差が食味のよさにつながっている。

市内の小中学校では、総合的な学習の時間や生活科などに、この「地域ブランド化推進品目」を教材として取り上げる学校が増えている。子供たちは、地域に根差した作物について調べたり、実際に育てたりすることで、そのよさを体験的に学んでいる。こうした学びの過程で、身近にいる生産者の努力や苦労などに気づき、岡崎市の農林産物のよさを誰かに知らせたいと動き出す子もいる。

今後、子供たちを含め、地域を巻き込んだ農林産物のブランド化が推進され、多くの人が「地域ブランド化推進品目」である農林産物を手に取ることで、地域の活性化につながっていくことを願っている。

岡崎市農 地域ブランド



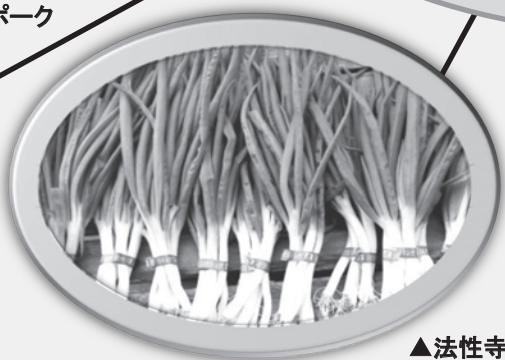
▲マスコットキャラクター「オカボー」



▲岡崎竹千代ポーク



▲大門のしめ縄



▲法性寺ねぎ



▲大門のしめ縄体験教室（大門小学校）



▲法性寺ネギの収穫体験（六ツ美西部小学校）



●少年自然の家だより

川で遊べ、木を燃やせ

所長 高橋 誠

表題のようなこと、子供に言ったことがありますか。もし今の時代、子供がそんな遊びをしていたら、大人は「なにやっているのだ」となるでしょう。岡崎市少年自然の家は、それらを子供が思い切りできる、貴重で恵まれた、四十六年目をむかえた施設です。「貴重な」と表現するのは、以下の点において稀有であるからです。一点目は「山と川の両方を備えている」こと。山中のテントサイトとロッジ、そしてカヌー場も備えた施設環境はそうはありません。そして二点目は、「自然石で炉を組み、しかも直火で炊飯ができる」こと。私の知る限り、そんなワイルドな方法が許されるのは、ここ岡崎だけ。見つけた小さな魚や、肌



付いた葉っぱ。堰を落ちる水の音と、体を押す流れの圧。これらを感じながら夢中に遊ぶ子供は、水しぶきに負けないくらいキラキラ輝いていきます。炊飯では、鈍で無心に薪を割り続ける子。隣で燃える炎をずっとつついて、その場を離れない子。また、枝葉を集めては炉に入れ、炎を生み出すことに夢中な子。そして、キャンプファイヤー。活動が始まると、自然の家は、瞳キラキラのオンパレードになります。

今や「山の学習」は一生に一度。その思い出は深く、心に刻まれます。どんな思い出を刻むか、それが教師の腕の見せ所。ぜひ「童心の心」で計画し、子供を夢の国に導いてほしいと思います。

●表彰

◆第18回愛知県少年少女空手道選手権大会

○小学六年女子組手の部

2位 愛宕小 林 果鈴

◆第22回愛知県中学生空手道選手権大会

○男子団体形の部

3位 常磐中 近藤 大空

○男子団体組手の部

3位 北中 寛 陸

○男子個人組手の部

3位 常磐中 近藤 大空

3位 北中 濱 歩

◆第39回愛知県中学生体育別柔道大会

○66kg級

2位

六ツ美北中 田中 善

◆第35回中部日本個人・重奏コンテスト本大会

〈中学校部門 個人の部〉

○アルトサクソフォン独奏

銀賞 竜海中 柳川美優里

〈中学校部門 重奏の部〉

○打楽器五重奏

銅賞 竜海中 鈴木 舞風

藤井 成実

前田 和香
山川 愛葵
小田 晴也

◆令和5年度全国剣詩舞コンクール愛知県大会

○剣舞少年の部

優勝 六ツ美中 金山 咲希

●令和5年度の教員の研修

平成二十一年度より導入された教員免許更新制が発展的に解消された。それに伴い、本市でも教員の研修体系を大きく変更した。

これにより、教員それぞれのキャリアステージにあった研修を受けることができる。教員自身が自らの強みや弱み、今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割などを踏まえながら、必要な学びを主体的に行うことが求められる。研修の内容は左のとおりである。ぜひ、実りある研修を行い、学校で生かしてほしい。



教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～16:00
4	あいこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

<令和5年度授業力・教師力アップセミナー【基礎編】【専門編】【推進編】>

1【基礎編】

①7月21日(金) 午後

研修番号	研修名	会場
1	国語・書写・図書館	総合学習センター 多目的ホール・研修室1
2	社会	石工団地組合 会議室
3	音楽	総合学習センター 研修室2
4	学習情報	羽根小学校 理科室
5	生徒指導	総合学習センター 小ホール

②7月26日(水) 午前

研修番号	研修名	会場
6	理科	総合学習センター 研修室1・2
7	図画工作・美術	少年自然の家
8	体育・保健体育	岡崎中央総合公園 武道館・第1・2会議室
9	家庭	竜美丘会館 4F末広の間
10	外国語	六名小学校 音楽室他
11	技術【専門編】含む	常磐中学校 パソコン室
12	特別支援	総合学習センター 小ホール

③7月26日(水) 午後

研修番号	研修名	会場
13	保健	総合学習センター 小ホール
14	算数・数学	総合学習センター 多目的ホール
15	英語	六名小学校 音楽室他
16	生活	根石小学校 理科室他
17	特別活動	総合学習センター 研修室1

④8月4日(金) 午前

研修番号	研修名	会場
18	総合	総合学習センター 研修室1・2
19	道徳	総合学習センター 小ホール

2【専門編】

①7月26日(水) 午前

研修番号	研修名	会場	講師
1	保健	総合学習センター 多目的ホール	鈴木 滋子

②7月28日(金) 午前

研修番号	研修名	会場	講師
2	総合	総合学習センター 小ホール	酒井 智之
3	道徳	総合学習センター 研修室2	白川 真理
4	学習情報	福岡中学校 理科室・普通教室	太田 尚志 鈴木 広樹
5	特別活動	総合学習センター 研修室1	菅沼 友香

③8月1日(火) 午前

研修番号	研修名	会場	講師
6	国語・書写・ 図書館	総合学習センター 多目的ホール1・2	高橋 遼 石田 勝重 近藤 秀子
7	算数・数学	総合学習センター 小ホール	秀野 亜友 西尾 修一

8	理科	自然科学研究機構 基生研	大洲 壮一朗 日下部 教子
9	図画工作・ 美術	総合学習センター 研修室1・2	堀口 宏章 中根 勅子
10	家庭	常磐中学校 被服室	阿部 祐子
11	英語	総合学習センター 多目的ホール3	梅岡 知充 寛 真由美
12	生徒指導	総合学習センター ICT室	武藤 憲 山本 公三

④8月2日(水) 午前

研修番号	研修名	会場	講師
13	社会	総合学習センター 多目的ホール1・2	安井 文一 大野 大督
14	音楽	総合学習センター 小ホール	三輪 佳奈子 服部 晃峰
15	体育・ 保健体育	岡崎中央総合公園 武道館・第1・2会議室	杉浦 大作 大野 孝輔
16	外国語	総合学習センター 研修室3	梅岡 知充 寛 真由美
17	生活	総合学習センター 研修室1	鈴木 大介
18	特別支援	総合学習センター 多目的ホール3	小山 岳彦 杉山 彩

3【推進編】

①7月26日(水) 午後

研修番号	研修名	会場	講師
1	保健・衛生・ 食育推進研修	総合学習センター 研修室2	岡村 直美

②7月28日(金) 午後

研修番号	研修名	会場	講師
2	研究推進研修	総合学習センター 多目的ホール	永井 利昌
3	生徒指導 推進研修	総合学習センター 小ホール	神谷 敦仁
4	道徳教育 推進研修	総合学習センター 研修室1	本郷 一毅
5	ICT・プログラミング 教育推進研修	総合学習センター 研修室2	村田 貴志

③8月1日(火) 午後

研修番号	研修名	会場	講師
6	学年経営 推進研修	総合学習センター 多目的ホール1	鈴木 正統
7	日本語教育 推進研修	総合学習センター 小ホール	荒井 留美

④8月2日(水) 午後

研修番号	研修名	会場	講師
8	授業指導研修	総合学習センター 小ホール	小田 幸子
9	特別支援教育 推進研修	総合学習センター 多目的ホール1・2	鈴木 孝広

<令和5年度ブラッシュアップ研修>

(1)8月1日(火) 午後

研修番号	研修名	会場	講師
A	子どもの発達や生 活の変化を踏ま えた課題	総合学習センター 多目的ホール3	永田 勲
C	学習指導要領の改 訂の動向等	総合学習センター 多目的ホール2	三浦 敦子

(2)8月2日(水) 午後

研修番号	研修名	会場	講師
B	国の教育政策や 世界の教育の動向	総合学習センター 多目的ホール3	山口 明則
D	学校における危機 管理上の課題	総合学習センター 研修室1	田中 俊二
E	ICT研修	総合学習センター 研修室2	村田 貴志 杉坂 和俊

・カ
ツ
ト

細
川
小

松
木
大
悟

青木川「川遊びの会」 (平成4年)

写真提供：常磐東小学校

青木川に放流された魚を、子供たちが夢中で追いかける。学区の豊かな自然に親しんでほしいとPTAの発案で始まった「川遊びの会」の光景である。

「川遊びの会」は、現在も全校を挙げて自然や生き物と触れ合う機会となっている。会の前には、「青木川クリーン作戦」と称して、美化活動が行われる。また子供たちは、学習の教材としても川に触れている。郷土の自然に触れ合いながら、学び、育っているのである。

岡崎平野には、矢作川へとつながる多くの支流がある。各学校の近くを流れる川は、多様な命と共に生きる心や郷土愛を育む最適な学びの場である。



特定の地域で作られる「地域ブランド化推進品目」。長い歴史の中で生産者が工夫を凝らし、技術を磨いてきた自慢の一品だ。「市民には、優れた生産物を手にし、消費してほしい。そして、その生産者がすぐそばにいたいことを知っている」と。市役所農務課の職員の熱い思いと支援が、地域活性化の一翼を担っている。

他にはない自分だけの万年筆に出会えたならば、きつと今よりずっと書くことが好きになる。書き味やデザイン、インクの色など、何万通りもの中から選んだ逸品は、日常に彩りを運んでくれる。「お客様と話をするのが楽しい」。人との交わりを大切に、今日もまた、竹内さんとお客様との新たなペン探しの旅が始まる。

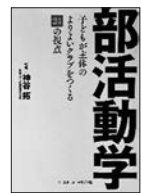
どホ

文目ツ



▲短冊に願いを込めて(矢作東小)

梅雨が明け、日差しがまぶしく照り付ける。冷たい水に歓喜の声が響く。水しぶきを上げて、思い切り手足を動かす子供たち。入道雲の湧き立つ青空の下、プールで輝く笑顔はとびきりだ。夏、子供たちは多くの経験をして、身も心もぐんぐん育つ。そんな子供たちの姿を見て、教師も思わずほほえむ。



*部活動学 神谷 拓
ベースボールマガジン社 ¥1,500

心に残った一文
そもそも運動部活動は何のために

本書は、「子どもが主体の活動」をテーマにスポーツの専門家だけでなく、哲学・経営学、様々な分野の専門家が展開した24の授業が紹介されている。目標をどこに置き、バクトルを一つにするために子供とどう関わり、どんな力を育むのか。これらのヒントが多く記されている。

最も重要なこととして、子供が大人や仲間から承認され、信頼される経験をたっぷりもつ場の必要性が説かれる。「学校は相互承認の感度を育む場である」の言葉にも納得させられる。

部活動の意義、これからの在り方について、改めて考えさせられる一冊である。

- *僕たちの部活動改革 神谷 拓 ¥1,500
かもがわ出版
 - *毎日の部活が高校生活一番の宝物 加部 究 ¥1,600
竹書房
 - *凸凹のためのおとなのところがまえ 三木 崇弘 ¥1,500
講談社
- 形埜小 清水佐知子